

平成26年度 在宅医療及びがんの在宅療養の充実のための支援事業計画(報告)書  
 (事業者名 公益社団法人鳥取県西部医師会)

1 事業計画(実績)

1 事業実施(予定)期間	平成26年4月 ~ 平成27年3月
2 事業実施計画(実績)	<p>平成23年度西部医師会在宅医療推進委員会を創設し、在宅医療の推進、看取りの可能な「かかりつけ医」の増加対策、在宅医療、在宅看取りに係る地域住民啓発について、検討協議を重ねてきた。</p> <p>平成23年度から25年度の間における協議結果・事業実績を踏まえ、在宅医療推進委員会にて事業推進のための協議を行うとともに、平成25年度に設立した諸事業の具体化・実施のための下記のプロジェクトチームにおいて、諸事業を実施する。</p> <p>1 在宅医療推進委員会の継続的開催              下記諸事業の進捗状況の把握並びにその推進を図るために、鳥取県、米子市、並びに病院地域連携室MSW、介護・福祉職員等他職種の参加による委員会を継続して開催する。</p> <p>2 かかりつけ医支援、在宅医療支援診療所届出推進・マッチング事業              在宅看取りの経験が少なく、そのことに不安のある「かかりつけ医」に対する、経験豊富な医師による助言、補助・代診の検討、実施により看取りの可能な医師数の増加対策を講ずる。</p> <p>3 病院勤務医への在宅医療理解支援事業              病院勤務医に対し、在宅医療への理解促進を図るためのパワーポイントを作成し、各病院においての活用を図る。</p> <p>4 地域住民啓発事業</p> <p>(1)在宅医療推進出前講座事業              昨年度から実施している各公民館等における在宅医療推進出前講座を引続き開催し、地域住民に対する啓発を継続して行う。</p> <p>(2)住民意識調査事業              上記出前講座開催時に参加者へのアンケート調査を実施し、在宅医療についての住民意識の調査を実施する。</p> <p>(3)在宅医療推進出前講座でのパワーポイント作成(更新)事業              昨年度作成した出前講座のためのパワーポイントについて、出前講座開催実績を踏まえ、住民にとってより分かりやすいものとするために、順次更新を行う。</p> <p>(4)「もしもの時のあんしん手帳」作成(改訂)事業              昨年度作成した住民啓発用パンフレット「もしもの時のあんしん手帳」について、住民にとってより使いやすいものとするために、順次改訂を行う。</p> <p>5 多職種連携推進事業              在宅医療、在宅看取り推進のため、医療従事者、介護・福祉職員等他職種を対象とする研修会等を開催し、多職種連携を推進する。</p> <p>6 在宅医療推進のための情報提供としてのホームページ作成事業              在宅医療推進のための情報提供として、西部医師会在宅医療推進委員会のホームページを作成する。</p>
3 その他	

(注) 継続事業の場合は、前年度までの事業の継続性を「2 事業実施計画(実績)」に記載すること。